

議第14号議案

米軍横田基地CV22オスプレイの墜落・死亡事故を受け、オスプレイの全機飛行停止、横田基地からの全面撤去、自衛隊立川基地への飛来中止を求める意見書

上記の議案を提出する。

令和5年12月11日

提出者

東大和市議会議員 早川美穂

〃 尾崎利一

〃 上林真佐恵

米軍横田基地CV22オスプレイの墜落・死亡事故を受け、オスプレイの全機飛行停止、横田基地からの全面撤去、自衛隊立川基地への飛来中止を求める意見書

11月29日、屋久島沖で米軍横田基地所属のCV22オスプレイが墜落し、乗組員8名のうち既に1名の死亡が確認された。米海兵隊の機体を含め、オスプレイは開発段階からこれまでに何度も墜落・死亡事故を繰り返しているが、国内での死亡事故は初めてである。

報道によれば、今回の墜落事故について、元自衛隊幹部はエンジンやトランスミッションなど動力システムのトラブルの可能性が高いとしている。横田基地のCV22オスプレイは2018年4月の横田基地への初飛来以降、昨年10月までに少なくとも5回、エンジントラブルなどで緊急着陸を繰り返している。さらに米空軍特殊作戦軍は昨年8月、ノルウェー北部でCV22がクラッチの不具合で緊急着陸、飛行不能に陥ったことを受け、横田基地を含む空軍保有のCV22、53機全機を一時飛行停止した。不具合が起きる原因はいまだに不明である。

開発当初から指摘されてきたオート・ローテーション機能の欠如に加え、オスプレイの機体そのものに構造的欠陥があることは明らかである。

日本政府は11月30日午前、米軍に安全性が確認されてから飛行するよう要請したが、事故後も米軍オスプレイは傍若無人に日本国内での飛行を繰り返している。

よって東大和市議会は、市民の安全を守るため、政府に対し以下のとおり要請する。

記

- 1 事故機の乗組員の捜索に全力を挙げるとともに、米軍横田基地所属のCV22や自衛隊立川基地に飛来するV22を含むオスプレイを直ちに全機飛行停止すること。
- 2 米軍横田基地へのオスプレイ追加配備計画を中止し、国内配備のオスプレイ全機を撤去すること。自衛隊V22オスプレイについても、立川基地への飛来を今後一切中止するとともに、全機撤去すること。

以上、地方自治法第99条の規定により、意見書を提出する。